

学校法人 東京聖徳学園

聖徳フラッシュ

第121号

令和4年8月1日

発行

学校法人 東京聖徳学園
〒108-0073 東京都港区三田3-4-28
TEL.03-5476-8811(代)



聖徳学園ホームページ

https://www.seitoku-u.ac.jp/gakuen/

- 聖徳大学大学院
- 聖徳大学教職大学院
- 聖徳大学
- 聖徳大学短期大学部
- 聖徳大学幼児教育専門学校
- 光英VERITAS高等学校
- 聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校
- 光英VERITAS中学校
- 聖徳大学附属取手聖徳女子中学校
- 聖徳大学附属小学校
- 聖徳大学附属幼稚園
- 聖徳大学附属第二幼稚園
- 聖徳大学附属成田幼稚園
- 聖徳大学附属浦安幼稚園
- 聖徳大学三田幼稚園
- 聖徳大学八王子幼稚園
- 聖徳大学多摩幼稚園

聖徳フラッシュ

短期大学部 保育科

学外研修Ⅱ(北海道研修旅行)を三年ぶりに実施

六月七日(火)から九日(木)、短期大学部保育科第一部二年生と第二部三年生を対象とした、念願の学外研修Ⅱを実施しました。皆さん、おばんです!この北海道弁での夕食の挨拶も三年ぶりとなりました。

このプログラムは「聖徳教育」の一環で、研修旅行での経験・体験を通して「自己管理能力」「チームワーク力」などの豊かな人間性を育むことを目的としています。本来は六泊七日の行程を二泊三日に短縮しつつも、充実した学外研修となりました。



晴れ渡る釧路市湿原展望台

INDEX

- 園児教育専門学校.....5
- 光英VERITAS中・高.....15
- 取手聖徳女子中・高.....6
- 小学校.....6
- 幼稚園.....6
- インフォメーション.....8

大学看護学部

第七回ナース・スチューデント

認証式

七月九日(土)、看護学部三年生の「第七回ナース・スチューデント認証式」を看護師になるための決意式として、聖徳大学川並香順記念講堂にて開催しました。新型コロナウイルス感染症への対策として、今年度も来賓の参列はありませんでしたが、保護者にはオンラインで配信しました。

この式典は、看護学部開設以来、毎年行われており、秋学期から本格的な臨地実習を開始するにあたり、看護学生が医療に携わる人間としての責任感や使命感を自覚し、看護の心を引き継



いでいくことを目的としています。厳かな雰囲気の中、水戸美津子学部長より学生一人ひとりに認証バッジとキャンドルを授与しました。



学生たちの「誓いの言葉」では、「私たち七期生は、看護の道を目指すものとして、今日、新たな決意をここに表明します。発展し続ける保健医療を担う者として、常に責任を持ち、主体的に学び続けます。『和』の精神に基づき、思いやり、いた

北海道では晴天に恵まれ、お天道様も保育科学生を笑顔で迎えてくれました。釧路市湿原展望台では、北海道の雄大な自然を見渡すことができ、北海道へ来た実感が湧きました。晴れた姿を見せない「霧の摩周湖」でさえ、たった一度の訪問で澄み渡る神秘的な摩周ブルーを見ることができ、一同大興奮でした。今回の研修旅行で初めて組み込まれた摩周湖星空ツアーは、残念ながら霧に覆われ、星は見えませんでした。一日のうちに晴れた姿と霧の姿、二つの摩周湖を体験できました。



噴気孔からほとばしる噴煙を浴びる学生たち



花時計を前にクラス写真を撮影

硫黄山では、ほとばしる噴煙の前に、大地の神秘を感じつつ、アイヌ民族資料館で北海道の歴史文化に触れ、阿寒湖では、丸くなるマリモから自然の神秘を感じ、川湯温泉や十勝川温泉のお湯からは、大地の豊かさを肌で感じました。最終日は、美しい花時計の前で写真を撮り、クラス

の友人との思い出になりました。その後時報を聞き、池田ワイン城を見学、幸福駅を経て、充実した三日間の研修旅行を終えました。コロナ禍でマスクを着けたの研修旅行でしたが、北海道の自然、文化に触れ、クラスを超えた友人や教職員との信頼関係を深めた貴重な体験となりました。

わり、優しさを大切にし、看護を必要とする人々に真摯に向き合います。私たちが支えてくださる人々への感謝を忘れずに、仲間と助けあい、いかなる困難にも立ち向かい、ともに乗り越え、成長していきます。自ら考え行動できる実践力と気品ある凛とした看護師になることを誓います」と述べました。



川並弘純学長からは「今まで学んだ知識を目の前の患者に応用できることが大切である。自信を持って臨んでほしい。増井三夫副学長からは「今日灯されたろうそくの火は、看護師としての使命感であり、患者の希望の光として引き継がれているものである。誇りを持って成長して欲しい」とい



六月二十七日(月)、取手国際ゴルフ倶楽部において、「二〇二二年度関東中学校ゴルフ選手権決勝大会兼夏の全国大会予選(七十六名出場)」が行われました。光英VERITAS中学校一年生の片野貫一朗君が七アンダー六十五(一イーグル五バーデー)という驚異的なスコアで二位に三打差をつけて圧勝し、全国大会への出場権を獲得しました。

光英VERITAS中学校一年 片野貫一朗君

関東中学校ゴルフ選手権決勝大会兼夏の全国大会予選 優勝!

中学校に入学して三カ月での快挙に校内外で歓喜の「和」が広まりました。なお、「二〇二二年度全国中学校ゴルフ選手権大会」は八月八日(月)から十日(水)の三日間、栃木県のピートダイゴルフクラブで開催する予定です。

これからも、本学ゴルフ部では、真摯に練習に取り組み、全国大会上位入賞を目標に頑張っていきます。

聖徳大学附属女子高等学校 (現・光英VERITAS高等学校) 卒業

プロゴルファー 木村彩子選手

「アース・モンダミンカップ」 ツアー初優勝!

聖徳大学附属女子高等学校(現・光英VERITAS高等学校)を平成二十六年(2014年)に卒業後、プロゴルファーとして活動している木村彩子選手が、六月二十三日(木)から二十六日(日)に、千葉県カメリアヒルズカントリークラブで行われた「二〇二二年アース・モンダミンカップ」に出場し、通算四アンダーでツアー初優勝を果たしました。

今後の木村選手にさらなる活躍が期待されます。

あそびの駄菓子屋 くまさん

UR都市機構との共同企画始動!

六月十八日(土)と七月九日(土)、松戸市内にある常盤平団地のポール公園にて、遊びの出前活動を通じて多世代間の交流を図ることを目的に、「あそびの駄菓子屋 くまさん」を行いました。

本イベントは、本学とUR都市機構との協定締結後初の取り組みとして、生涯学習研究所、レジャー・レクリエーション学研究室、UR都市機構の共同企画として行いました。



会場の様子

日本では、子ども、若者、高齢者の世代間交流の減少が地域の相互支援に大きく

影響し、今、レクリエーションを通じた交流を軸に子どもの居場所づくりが広がっています。当日は、けん玉やコマと

ム、ドッジビーを会場に用意し、子どもを中心に保護者や本学学生が遊びを通して交流を深めました。今回のイベントは、初の試みでしたが、各回四十名以上の親子が参加しました。



テーブルゲームで楽しむ様子

船橋市食育展 卒業生と在学生在が 共同で調査研究

人間栄養学部

人間栄養学部では毎年、船橋市食育展に参加しています。今年度の食育展のテーマは「船橋産の旬の食材を知ろう!おいしく食べよう!」です。本学は船橋市保健所に栄養士として勤めている卒業生と共同研究を企画し、「一般住民を対象とした野菜・果物摂取に関する調査研究」について取り組みました。

六月八日(水)から十六日(木)まではイオンモール船橋一階メイン通路にて、六月二十日(月)から二十四日

(金)は船橋市保健福祉センター一階ロビーにて野菜摂取に関する展示資料を掲示しました。

六月十一日(土)、十二日(日)にはイオンモール船橋一階の広場にて行われた体験型イベントでは、ゼミ生など八名が参加し、アンケート調査やカゴメ(株)のベジチェックを活用した推奨野菜摂取量の測定を行いました。二日間で約百九十名にご協力いただきました。野菜・果物摂取の促進は、生活習慣病等の予防の観点

から多くの地域の課題となつていきます。本イベントの取り組みが少しでもそれらの課題改善に役立つよう、ま



イオンモール船橋にてブースを出展

た調査研究結果を地域社会に還元できるよう、引き続き励みます。

文学部×教育学部

みなとダイバーシティフェスティバル二〇二二で「ワールド・リンケージ」

六月十一日(土)・十二日(日)、文学部片山ゼミ、教育学部北畑ゼミ、戒川ゼミの有志学生が「みなとダイバーシティフェスティバル二〇二二」(東京青年会議所主催)に参加しました。

本イベントは、多様な価値観を受容しやすい地域社会を実現すること等を旨として開催されました。学生たちは、株式会社マイティブックと株式会社東北新社との共同企画で視覚障害を理解するためのリサイクル布を使ったワークショップ「Touch & Feel」布絵本を作



ろう!」の出展ブースに、ボランティアとして参加しました。参加した学生が「SDGsを具体的にどのように実践

していくかを考えるきっかけとなった「子どもと実際に接したことで自信がいった」など、日頃の学びと結びつけた感想を持ったのが印象的でした。また、他学部との協同を通じた学びの深化も見られ、本学が他大学に先駆けて推進する「ワールド・リンケージ」のポジティブな効果が感じられる活動となりました。



児童学科 有川ゼミ 親子の交流会

「世界で一つの〇〇〇〇を作ろう!」

六月二十五日(土)、テラスモール松戸で「親子の交流会」世界で一つの〇〇〇〇を作ろう!を開催しました。当日は、感染症拡大防止の観点から、事前申し込み制(親子十六組限定)とし、参加者は「手形アート」「マスクペイン

ト」のどちらかを選び親子で作成しました。このイベントは、地域課題を発見し、解決手法を考える課題解決型学習(Project Based Learning: PBL)として、コロナ禍における親子交流をテーマに開催しました。参加した保護者



からは「おうち遊びの幅が広がった」「同年代のお子

さんを持つ保護者とお話ができ良かった」などの感想がありました。

有川ゼミの三、四年生に加え、サポートとして、地域支援ボランティア研究受講学生(一年生)、社会教育主事課程学生(三年生)も参加し、学年を超えて学び合う姿が見られました。

今後、地域に飛び出た学びを大切に、さまざまな教育実践・研究を行っていきたくと考えています。



「ようこそ先輩」 第十四回 教職経験者懇談会

六月四日(土)、学校現場で活躍されている卒業生を迎え、教職を目指す学生と語り合う「ようこそ先輩」教職経験者懇談会」を開催しました。



採用試験について話をする卒業生

今年は、教職への道を目指す強い気持ちを持つ一年生から四年生が参加し、進行は四年生が行いました。懇談会は二部構成で、第一部では、八名の先輩方から現在勤務している学校の様子や教員採用選考までの勉強法などの話を伺いました。

第二部では、四つのグループに分かれて地区別情報交換会を行いました。参加した学生からは「採用選考での面接内容や試験官の様子などを詳しく聞くことができた」「採用選考直前の勉強法や当日の様子が分かり、不安な気持ちが解消できた」などの感想がありました。また、先輩からは「勤務校の様子を話すことで役に立って嬉しい」「後輩に話すことで自分が抱えていたストレスが発散できた」など先輩にとっても、本学でパワーを充填する有意義な時間となりました。



卒業生の皆さんと記念撮影

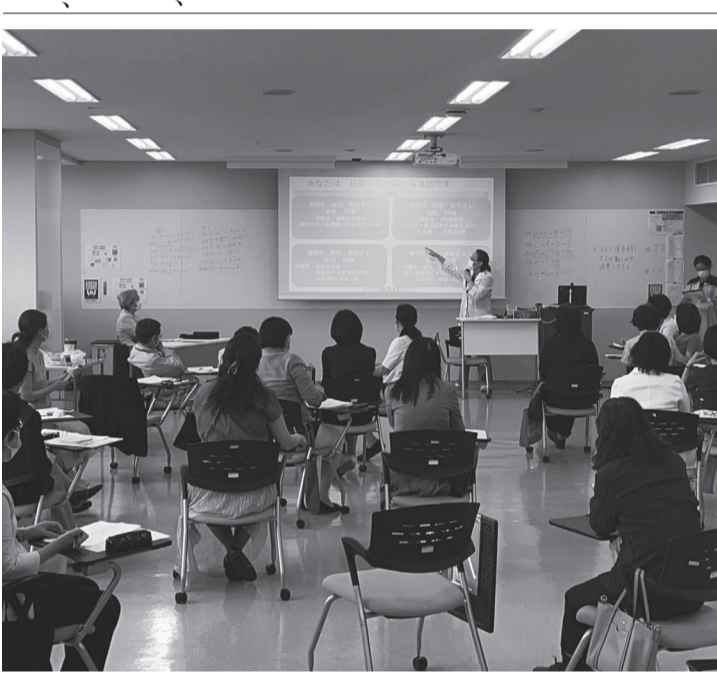
看護学部 だより

看護学部FD研修会を開催

六月三日(金)、令和四年度第一回看護学部FD研修会を開催しました。今回のテーマは、「統合実習の複数患者対応シミュレーションの体験と指導の在り方の検討」でした。

統合実習とは、毎年九月に看護学部四年生が履修する実習です。看護学生として最後の実習では、複数の患者を受け持ち、優先順位を考えて看護実践を行います。その優先順位の考え方について、実習に行く前に学内で事例を用いたシミュレーション演習を行っています。

今年度は、このシミュレーション演習を模倣的に体験し、今後の指導に活かすことを目的としました。まず始めに、六つのグループに分かれ、学生の立場で、四名の患者の事例について、優先順位を検討しました。事例の患者の状況は、時間経過とともに変化していきます。その変化を把握し、それぞれが考えた根拠に基づいて優先順位を決めていきました。



の根拠、他の教員の考え方を聞くことができた」「自分にはない新たな視点を知ることができた」などの感想がありました。

ありました。今年度実施する統合実習での実践に向けて、有意義な研修となりました。

聖徳大学短期大学部 総合文化学科 だより

授業紹介 「キャリアアスタディⅡ」 「ダイバーシティについて考える」

二年生の「キャリアアスタディⅡ」の授業は、社会や仕事を学び、自らのキャリアをデザインする力を養うことが目的です。各分野の専門の先生から話を聞き理解を深めます。

六月三日(金)の授業では、千葉県立西部図書館に勤務している松井進氏が講演しました。松井氏は盲導犬ユーザー



松井進氏と盲導犬

ザーであり、図書館では障がい者サービスなどを担当しています。講演の内容は、視覚障がいや盲導犬の生活、点字図書館、出版のユニバーサルデザイン、アメリカ留学の体験談など、多岐に渡りました。時折出てくるクイズでは、学生は挙手ではなく、拍手で答えながら参加しました。

松井氏は点字を使っていますが、実は点字が読める視覚障がい者は十パーセント以下に過ぎず、図書の音声化が必要とされています。音訳ボランティアが大切な役割を担いますが、近年は文章に加えて、図表も認識して説明してくれるAIなども出てきています。

松井氏は「目が見えなくなった時は絶望したが、自分に何が出来るかを考えて、出版ユニバーサルデザインの勉強や講演などをしている」と話していました。最後に、学生に期待することとして、「多種多様な利用者がいることを知り、利用しやすいように考



えてほしい」と話がありました。さまざまな方への配慮を当たり前のこととして捉え、自分にできる役割をしっかりと考え、工夫する大切さを改めて実感しました。

三カ月ですが、とても立派なプレゼンテーションを披露しました。学生からは学年に関わらず、多くの意見や質問があり、活発な質疑応答が行われました。来場

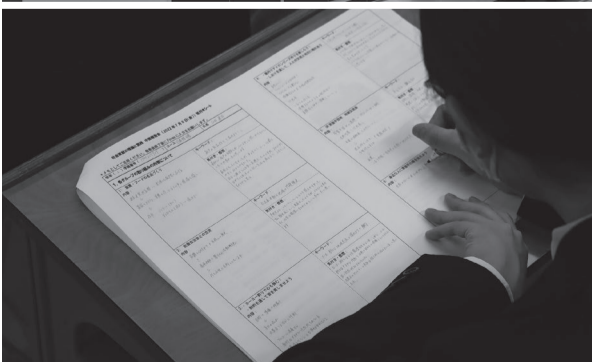
「社会貢献活動の理論と実践」 中間報告会

七月八日(金)、「社会貢献活動の理論と実践」の授業での活動について、中間報告会を開催しました。この授業は総合文化学科の特徴的な科目であり、一年生が社会貢献・地域貢献活動について理解し、情報の収集・分析力・課題発見力、企画力等に必要能力や技術を身に付けることを目的としたカリキュラムとなっています。

◆UR常盤平団地地域交流会(本むすび・縁むすび)(身近な人に常盤平の緑を伝えよう)

◆中間報告会では、各グループにおける活動テーマと今後の活動予定を発表しました。発表はパワーポイントを使い、六分間のプレゼンテーションを行いました。その後、四分間の質疑応答を行いました。入学してから

◆今年度は三グループに分かれて活動を行っています。
◆フードと製菓の名品作り(枝豆と梨で社会貢献)
◆岩瀬自治会との交流(お



発表を聞いて、気付きシートに記入する様子

聖徳大学児童学研究所講演会 『二十世紀を生きる 子ども達への支援』

六月十八日(土)、聖徳大学において、本学大学院教職研究科の塩美佐枝教授が講師となり、児童学研究所主催講演会「二十世紀を生きる子ども達への支援」を開催しました。



塩美佐枝教授

今回の講演会は、対面とオンラインによるハイブリット形式で行い、教職員や学生・大学院生の他、学外からはオンラインで一般の方(教育・保育に携わる方)と合わせて百二十名以上が参加しました。

講師の塩教授は、将来、未曾有の困難に立ち向かい、持続可能な未来づくりに向け、進める現在の幼児に対し、どんな教育が求められているのかについて話していただきました。また、令和三年の中央教育審議会答申「令和の日本型学校教育」でいわれ

る「個別最適な学び」「協働的な学び」は、実は幼児教育・保育の得意分野のほうであるとも話していただきました。「幼児期にはぐくみたい二十一世紀型能力」という硬いイメージの言葉も、講師の満面の笑みと、平素の幼児における数々の事例によって、親しみやすい講演となりました。改めて幼児期の教育・保育は人づくりの根幹であることを思い直す機会となりました。

関東地区福祉高等学校長会・学科主任等合同会議を本学で開催



六月十五日(水)、令和四年度第一回関東地区福祉高等学校長会・学科主任等合同会議を、本学香順メディアホールで開催しました。この会議は、東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県、茨城県、群馬県、栃木県にある福祉系高等学校(介護福祉士養成に必要なカリキュラムを置き、介護福祉士を養成している高等学校)、四十校の校長、福祉科などの主任の先生方によって構成されており、高校福

祉教育を推進していくための事業計画、予算、役員などについて審議をしました。令和三年度に続き、本学会会場となり、増井三夫副学長が歓迎の挨拶をされました。また、本学の教育内容や学生生活の紹介をしました。出席した高等学校の先生は、本学の施設の充実と、学生のもてなしに感服していました。

同窓会連合会「聖徳学園菊水会」第二十回 評議員会を開催

聖徳学園菊水会は、幼稚園から大学院までの各同窓会および卒業(園)生が相互の連絡・親睦を図ることを目的に、平成十五年に聖徳学園創立七十周年を機に組織された、十三団体から成る同窓会連合会です。会員数は約十六万九千人です。



六月十一日(土)、聖徳大学十号館十二階において、第二十回評議員会および懇親会を開催しました。当日は、各同窓会を代表して二十八名の評議員が出席しました。今年度は、学園創立者川並孝子先生五十年忌にあたり、川並知子名誉会長が、思い出を振り返りながら、「年に一回、各同窓会の皆さまが集まる会ですので、心一つにして聖徳の輪を広げていただきたい。

これからのどうぞよろしくお願いたします」と挨拶して、開会となりました。評議員会では、令和三年度収支決算・事業報告、令和四年度収支予算・事業計画の協議を行いました。本年度の事業計画として、卒業(園)生への記念品贈呈、各イベントにおけるクリアファイルの配布、役員研修の実施等が承認されました。続いて、各同窓会からの取り組みについて近況報告しました。

その後、十四階に会場を移して懇親会を開催し、二年ぶりに対面での情報交換を活発に行い、同窓会同士の親交を深めることができました。今後も、同窓生が生き生きと社会で活躍できるように支援活動を続けていきます。

聖徳大学八王子幼稚園 同窓会「和香葉会」を開催

六月十八日(土)、卒業生が集まる同窓会「和香葉会」を開催しました。午前の部は一、二年生、午後の部は三から六年生に分けて、合計九十名が参加しました。一昨年は中止、昨年は一、二年生のみで開催だったため久しぶりの同窓会となる三年生以上の卒業生はとて嬉しそうでした。会が始まると、幼稚園時代の歌を歌ったり、ゲームやリズム遊びをしたり、幼稚園の頃のように、楽しく遊びました。〇×ゲームでは、先生たちが縄跳びやフラフープ回しなどで、どちらが勝つかを予想し、正解を出す



ととても喜んでいました。王様ジャンケンでは、王様に勝とうと白熱したジャンケンが繰り返されました。誕生月仲間のリズム遊びでは、大きな円になって子どもたちも喜んで踊り、笑い声であふれていました。会終了後には園庭に飛び出し、大きくなった体で園庭いっぱい駆け回り、幼稚園時代に戻ったようでした。自分たちから「先生、鬼ごっこをしよう」と先生を誘い、園庭で走り回り、汗を流しながら思いきり体を動かして遊んでいました。卒業生から学校生活で表彰されたり、代表に選ばれたり、子どもたちの頑張りや成長が感じられました。コロナ禍で、卒業生に会える機会が減っていますが、いつでも遊びに来られる大好きな幼稚園であり続けたと思います。

保健センター 所長だより

新型コロナウイルス感染症 第七波に備えましょう

新型ウイルス(COVID-19)感染症の発生から、三年目を迎えます。本来ならば、楽しい夏休みシーズンですが、新型コロナウイルス感染症第七波が心配されております。その理由として、夏休み期間はお盆の帰省、旅行など人流が増える時期であること、新型コロナウイルスワクチン三回目の効果が減る時期であることが考えられています。第七波を低く抑えるには、どうしたらよろしいでしょうか?一つは、夏休みの帰省・旅行などをお盆の時期など人流の多い時期や場所を可能な限り避けるようにすることが勧められます。また、新型コロナウイルスの接種を夏休みに向けて加速する必要もあります。首相官邸によりますと、三回目の全国のワクチン接種率は六十二・二%(二〇二二年六月二十日現在)となっており、五分五分です。またお子さま(五歳から十一歳まで)の接種率も全国で一回接種完了が十八・二%、二回接種完了が十六・二%(二〇二二年六月二十日現在)とまだまだです。今までの感染対策(換気、必要な時の不織布マスク着用、手洗い・手指消毒など)を続けることも忘れないようにしましょう。今年の夏休みは、人流の多い時期、場所を避け、五歳以上の皆さまのワクチン接種を加速させて、第七波に備えましょう!

(所長 宮川 三平)

令和4年度 香和会 行事予定表

第55回 香和会総会 日程 9月18日(日) 場所 聖徳大学

支部パーティー 日程予定一覧

北陸・上信越支部

日程 9月4日(日) 13:00~15:00
場所 新潟市 万代シルバーホテル

甲州・中部・東海支部

日程 9月25日(日) 11:00~13:00
場所 富士市 交流プラザ

九州・沖縄支部

日程 10月8日(土) 12:00~14:00
場所 那覇市 ホテルストレータ那覇

北関東支部

日程 10月30日(日) 14:00~16:00
場所 さいたま市 ワイズダイニング大宮

北海道・東北支部

日程 11月5日(土) 11:30~13:30
場所 盛岡市 ホテルメトロポリタン盛岡

南関東支部

日程 12月4日(日) 13:30~15:30
場所 聖徳大学

近畿・中国・四国支部

日程 12月10日(土) 12:00~14:00
(11:30~受付)
場所 大阪市 ホテル阪急インターナショナル

(お問い合わせ) 聖徳大学 香和会
TEL/FAX: 047-366-5084
E-mail: kouwakai@wa.seitoku.ac.jp

時節柄、中止や変更があります。HPでご確認ください。http://www.seitoku-kouwakai.com/

募金だより



大学1号館の太陽光発電モジュール組込ガラススクリーン (松戸キャンパス)

梅雨明け早々に、全国各地で最高気温が記録され...

少ないLEDに照明を変え、環境を整えています。約四十年前から進められた省エネキャンパスのシステムは、日々のメンテナンスを行い、どれも現役で動いています...

「聖徳教育学術振興募金」寄付者芳名一覽
ご協力ありがとうございます
QRコードとHP案内

六月十三日(月)から十五日(水)までの三日間、高校三年生は鴨川研修旅行を行いました...



初日は好天に恵まれ、マザー牧場での畜産体験で生徒たちは乳牛コースと羊コースに分かれ...



最終日は、鴨川シーワールドを見学し、シャチャアシカのショーを楽しみました。今回の研修旅行は、例年実施してきた北...

光英VERITAS中学校・高等学校 鴨川研修旅行

二日目は小雨の中、地元漁師さんに仕掛けた網を皆で引き上げ、中に入っていた魚について一つひとつ説明を受けました...

幼児教育専門学校

ショートオープンキャンパス特別プログラム 聖徳大学三田幼稚園連携企画 「幼稚園を見てみよう」

六月十八日(土)、ショートオープンキャンパスを開催しました。本校では、新しい取り組みとして...

来校者が三田幼稚園の園児たちと触れ合う機会を作りました。園児が遊ぶ姿を見たり、実際に遊んで「子どもってかわいいな」...



「国語 素話に挑戦」 表現力を高める
本校では、国語の授業があり、「保育者として必要な教養と文章表現力」を身に付けるために...

では保育士試験でも課されること多い「お話」を取り上げ、模擬保育として演習を行いました。課題は、「三歳児、または五歳児の子ども十五人程度を想定してお話をする」...



発表後、それぞれが発表したお話について深く学んでいきます。卒業までに学生の「お話」のレパートリーを増やし、さらにブラッシュアップして実習や卒業後の保育活動で生かしていくことを期待しています。

取手聖徳女子中学校・高等学校

三年ぶり！有観客で体育祭実施

五月二十八日(土)、第四十回体育祭を三年ぶりの有観客(家族限定)で開催しました。生徒たちの生き生きとした姿を見ることができ、生徒・保護者にとっても思い出深い体育祭となりました。

保護者からは、「子どもたちが一所懸命頑張る姿や仲間を思いやる姿が見られて嬉しい」との感想が多く寄せられました。

また、今回の体育祭の成功には、昨年度から体育祭に関わる企画・運営に携わってきた体育祭実行委員会の存在が欠かせません。体育祭を終えた体育祭実行委員長より、コメントが届きました。

《体育祭実行委員長のコメント》

体育祭実行委員会は昨年度の三学期からスタートしました。団編成、種目役割などの検討だけでなく、予行・本番の進行役など、生徒の前に立つ機会も多く、体育科の先生の力を借りながら、運営に携わりました。

当日は、前日の雨が嘘のような天候に恵まれ、全競技をグラウンドで開催することができました。二年間の思うようにいかない体育祭を経て、今年は皆さんの思い出に残る携わりました。



六月二日(木)から四日(土)、千葉県鴨川市にてセイトクチャレンジキャンプを実施しました。一日目はマザー牧場で、畜産・乳牛体験をしました。生徒たちは「牛に触れてかわいと思う分、その命を頂くとすると切ない気持ちになった」といった言葉が聞かれました。その後の入館式では、校長が「しおりとは、もともと、枝を折る」という言葉であり、山を歩く時の道標だった。私たちのしおりも、これから先に待ち受けている冒険の道標になるものだ。楽しい三日間にしよう」と話し、良い校外学習にする決意を新たにしました。

二日目は、鋸山ハイキングと多田良海岸での地引き網体験をしました。ハイキングでは、ロープウェイで登り、「地獄のぞき」と呼ばれる絶景ポイントまで歩きました。地引き網体験では、皆で大きな網を引っ張りました。「山道を

徒たちからは、「牛に触れてかわいと思う分、その命を頂くとすると切ない気持ちになった」といった言葉が聞かれました。その後の入館式では、校長が「しおりとは、もともと、枝を折る」という言葉であり、山を歩く時の道標だった。私たちのしおりも、これから先に待ち受けている冒険の道標になるものだ。楽しい三日間にしよう」と話し、良い校外学習にする決意を新たにしました。

最終日は、鴨川シーワールドを満喫しました。初めて見るシャチのショーに圧倒されたり、ペンギンやアザラシに癒されたようです。校外学習中は学年を超えた交流も多く見られました。

この旅で得たエネルギーや気づきが、生徒たちの今後の学校生活につながっていくことを願っています。

幼稚園短信

聖徳大学三田幼稚園

園庭開放にごこひろば〜で遊びました

六月十五日(水)、今年度最初の「園庭開放」にこひろば〜を開催しました。この行事は未就園児とその保護者が、幼稚園で先生と一緒に楽しく遊べる場として、毎年行っています。

午前中は小雨のため、最初は、室内でままごと遊びやお絵描き、ボールプールなどで思い思いに遊びました。しかし、やはり元気な子どもたちです。雨があがると「滑り台やりたい!」という声が上がります。プレイジムや滑り台がある園庭へ走って飛び出しました。最初は、大きな滑り台やチェーンで渡る遊具などを慎重に滑ったり渡ったりし



ていましたが、教員たちと一緒に遊んだため、安心して遊んでいました。また、砂場でも親子で楽しく遊んでいました。

最後は、保育室で教員たちがパペットを使い、ピアノに合わせて手遊びをしたり、大型絵本の読み聞かせをしました。子どもたちは、友達と一緒に楽しそうに手遊びをしたり、夢中になって絵本を見たり、楽しいひとときを過ごせました。

保護者からは、「子どもが喜んでいてよかった」、「大きな滑り台を滑って楽しんでいました」などの感想がありました。帰りに、来年できる新園舎の模型について紹介をしたところ、保護者も新園舎への期待を高めていました。

昨年度は、コロナウイルスの影響により、やむを得ず、中止することもありました。今年度は、大勢の未就園児の親子にも参加してもらえるように、計画を立てています。

附属小学校

三年ぶりの校外学習

期間：二・四・五年生
六月六日(月)〜八日(水)
一・三・六年生
六月九日(木)〜十一日(土)

全校児童が二班に分かれ、それぞれ二泊三日で、千葉県鴨川市での校外学習を実施しました。一から三年生は初めて家族と離れて泊まる児童が多く、出発前には不安そうにしている姿も見られましたが、はじめの目的地であるマザー牧場に到着する頃には、気持ちも落ち着いていました。

一日目のマザー牧場で、一・二年生は、「牧羊犬とまきばの仲間たち」シープショー」を鑑賞しました。児童たちは、初めて観る牧羊犬が羊を追



い込む様子や羊の毛刈りに大喜びでした。

二日目は、鴨川シーワールドに行き、ベルーガやアシカやシャチのショーを見学しました。シャチのショーでは、シャチの大きさと迫力に圧倒され、児童たちはショーが終わってからも、興奮冷めやらぬ様子でした。

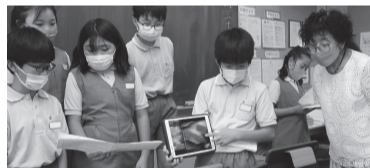
五月三十日(月)、五年生は、シンガポールにある南洋小学校とオンラインで交流会を開催しました。

シンガポール南洋小とのオンライン交流会

まずは、日本とシンガポールのお互いの学校の特色や文化について紹介し合いました。南洋小学校では、日本語の授業があり、日本語で演劇をしながら伝統的な食事や授業について紹介してくれました。

その後、少人数のグループに分かれ、お互い紹介したい文化のトピックを英語で発表しました。児童たちは、この日のために英語教師の協力のもと、日本語の作文を英語で練習しました。最終的には、英語が伝わると嬉しそうでした。

最後に、遊びの交流をしました。日本からはけん玉を送り、一緒に遊びました。シンガポールからは、「five stones」



(お手玉の)を片手でキャッチする遊びを教えてもらうと、児童たちはお手本を見ながら、楽しそうに取り組んでいました。

今回の交流会を通して、児童たちは、異文化に対する理解が深まり、南洋小学校の児童との距離も近く感じられました。少しでも英語で伝えられた達成感やICTを十分に活用して取り組んだ経験は、今後の学習への意欲が高まるきっかけとなりました。いつの日か直接会って話したいと願う児童たちの夢が叶うことを願います。

引き取り訓練をしました

本園では、毎年六回の防災訓練を行っています。

六月八日(水)は二回目の訓練として、地震を想定した園児たちの避難訓練と保護者を対象とした引き取り訓練を実施しました。

園児たちには事前に、非常用サイレンがなったら机の下に体を丸めて身を守るよう話した上で、訓練に臨みま

した。訓練中、泣く子どもはおらず、自分たちで防災帽子をかぶる努力をしていました。満三歳児や年少組の園児たちは机の下に避難することに一所懸命でしたが、教



員が援助をすることができると避難することができました。年中・年長組は、日頃から素早く防災帽子を一人ずつかぶる練習をしていたため、今回の訓練でも一人かぶることができました。あいにくの雨で、園庭に避難できず、子どもたちはホールに「おかしもちぼ」の約束「おさない・かけない・しゃべらない・もどらない・ちかずかない」のポケットに手を入れられないの意味も理解し、約束を守りながら避難することができました。

保護者を対象とした引き取り訓練では、非常時に備えて自宅から幼稚園までの経路を確認しながら所要時間を測り、園児を引き取りに来

ます。災害を想定して、服装は長袖・長ズボン・履き慣れた靴で来園し、玄関で防災カードを提出して親子で降園しました。

今後も、もしもの時に備えて園児たちに防災意識や正しい非常時の行動が身に付くように訓練をしていきたいと思

聖徳大学多摩幼稚園

「生活発表会」
「ほくのこと・わたしの
こと」みてみて!

入園・進級して早いもので三カ月。園児たちは遊びたいこと、やってみたいことを見つけて試したり考えたりしながら遊ぶ中で、今までできなかったことができるようになりました。また、友達と接していく中で一層が楽しいと感じたり、少しずつ心も成長しています。

このような園児たちの成長を保護者の方に見ていた、生活発表会を六月十六日(木)に開催しました。各学年、園児たちが興味を持っていることや遊びを題材にして発表しました。

ラスの満三歳児ひまわり組の発表はみんなでお散歩ごっこです。お気に入りの絵本「いちにのさんぽ」を読んで、お散歩を真似て遊び始めたことをきっかけに舞台の上でお散歩ごっこを披露しました。



三歳児桜組は大好きな動物のまねっこ遊び。ウサギ、ゾウ、クマになってリズム遊びをしました。ウサギのように跳ねたり、ゾウやクマのようにのっしのっし

と歩いて動物になりきっていました。四歳児梅組はさまざまな野菜になりきって登場です。「野菜を食べると元気もりもり!」と言いながら高くジャンプして、力持ちになったことを表現しました。五歳児松組は

「雨はつまらない?」「そんなことないよ。アサガオは喜んでくれるもん」と天気に興味を持ったことから、太陽や雨、風になって天気を表現して発表しました。久しぶりに舞台上でマスクを外して発表をしたことで、一人ひとりの表情をはっきりと見ることができました。また、楽しく生き生きと表現している園児たちの姿はとて微笑ましく思えました。そして、この経験が次のステップとなると信じています。

聖徳大学附属第二幼稚園

生活発表会
「五歳児松組
手話を披露しました」

六月二十九日(水)、三十日(木)の二日間、生活発表会を開催しました。今回も学年ごとに、一日二回の入れ替え制としました。またオンライン配信もあわせて行い、多くの保護者に園児の姿を見ていただきました。

満三歳児パンダ組は手遊び、三歳児桜組は絵本「りんごがどすーん」のリズム遊び、四歳児梅組は合奏とリズム遊びをしました。五歳児松組は絵本「いろいろないるのはじまり」のリズム遊びと合奏、そして歌を歌いました。コロナ禍でさまざまなことが制限され、大きな声で



歌うことができない日々。少しずつ口ずさむ程度に歌ったり、先生がピアノを弾きながら歌を聞かせたりしていましたが、ある日、五歳児の園児から「先生、歌、歌いたいね」と意見がありました。「大きな声で歌えないのなら、踊ってみてはどうか」「手を使ってみてはどうか」と、園児と話

し合いをしながら考えた結果、生活発表会では、五歳児全員で手話をしながら、歌を披露しました。



「あおいそらにえをかこう」の歌を手話で表現しました

聖徳大学附属浦安幼稚園

楽しかった
「聖徳子どもまつり」

六月二十六日(日)、聖徳子どもまつりを開催しました。



毎年、幼稚園の後援会である父母の会が主催して実施しており、本来なら卒業生なども参加して大変賑わう子どもまつりですが、コロナ禍の為、今年度も園児と保護者一名に限定し、各学年一時間ずつに分散して行いました。

子どもまつりを迎えるにあたり、園児たちも楽しく準備に取り組み、学年・クラスごとに作品を製作して、廊下の壁面や

聖徳大学附属幼稚園

雷が降ってきた!

六月三日(金)十六時ごろのことでした。預かり保育の園児たちの「夜みたい」という声を聞き外に出ると、いつもとは異なる空模様で真っ暗でした。何が起きるのでしょうか...

ピカッ、稲光の後、ゴロゴロドーンと大きな音に「キヤー」と声が響き渡りました。園児たちは、おっかなびっくりしながらも、空が光り大きな音に興味津々で自分の「へそ」を隠しながら空を眺めていました。不安と怖さで避難訓練と同様に机の下へもぐる園児もいました。



空の様子を眺める園児たち

突然の大雨と共に鳴り響く雷鳴にみんな大興奮!排水が追い付かず、テラスにはボコボコと水が溢れ、「お部屋にも入ってきちゃうかも」と心配の声も聞こえてきました。大雨で遮られた視界は一メートル先も見えません。雨粒が大きくなっ

たと思ったら...プチプチと地面に落ちる音が変わり、次々と変化する天気「雪だ」と表現します。よく見ると約一センチの雷が降ってきたのです!教員が砂場に落ちたひよ手を手の平に乗せて子どもたちに見せると、指で触り、「これ水?」と尋ね、手に持たせると溶けてなくなるひよ手に驚きの表情を浮かべていました。

わずか十分ほどの不思議な体験。教員の中にも初めてひよ手を見て、雷を怖がる姿がありました。「何でひよ手が降ってきたの?」と驚かした園児に「芽生えた探求心。初めての体験から、園児たちの気づきを見逃さず大切に育んでいきます。」

聖徳大学附属成田幼稚園

梅雨の晴れ間に元氣
いっぱい外あそび

六月は、梅雨時期ではありますが、両隣の公園の木々も色鮮やかな緑色で、晴れた日に外に出ると風や空気がとても気持ちよく感じます。天気が良いと園児たちは、「先生、今日はお外行く?」「今日も砂場で遊びたい」と登園してくると



梅雨の晴れ間に年少組が砂場に行き、泥あそびを始めました。幼稚園の砂場の上には藤棚があり、日陰を作ってくれているため、安心して遊ぶことができます。スコップで砂を容器に入れたり、じょうろに水を入れて流したり、カップやお皿でケーキ作りをしたり、山を作ったりと園児たちが思



い思いに遊び始めます。年少組は生まれてからほぼコロナ禍で生活をしておき、保護者の方には話を聞くと公園などの砂場にほとんど行けず、泥あそびの経験がない、公園で遊んでいたとしても他の友達との交流がないそうです。幼稚園の環境だからこそ、泥だらけになるまで安心して思いっきり遊ぶことができ、友達や先生と一緒に遊び、ともに感じた経験は、今の園児たちにとって必要なものかもしれません。砂場で、一緒に山を作ったり、水を流したり、顔を見合わせて笑っている年少組の笑顔を見て、今後も園児の心の成長を促していく保育を行っていきたく強く感じました。

きり遊ぶことができ、友達や先生と一緒に遊び、ともに感じた経験は、今の園児たちにとって必要なものかもしれません。砂場で、一緒に山を作ったり、水を流したり、顔を見合わせて笑っている年少組の笑顔を見て、今後も園児の心の成長を促していく保育を行っていきたく強く感じました。



5歳児のオリジナルかき氷

約二カ月前からアイディアを出し合い、準備に取り組んだ父母の会幹事の強い思いが伝わってきました。園児は十種類のゲームが楽しめるプレイセットを使い、さまざまなゲームにチャレンジしました。その都度スタンプを押してもらえると、「あと二個ゲームができる!もう少しで十個クリアできる!」とスタンプリも楽しみながら、ゲームをしていました。短い時間でしたが、親子で楽しみな顔が笑顔で見られ、充実した時間となりました。

通信教育部(共学) 令和4年度 秋学期生募集

お問い合わせ 047-365-1200 (直通)

- 聖徳大学大学院 通信教育課程
 - 児童学研究科 児童学専攻 [博士前期課程/博士後期課程]
- 聖徳大学 通信教育部
- 聖徳大学短期大学部 通信教育部

秋学期生願書受付期間

- ▶ 大学・短大 ~ 10月31日(月)【必着】 ※書類選考のみ
- ▶ 大学院(博士前期課程) B日程: 8月1日(月)~8月15日(月)【必着】 ※8月21日(日)試験

通信教育部では、令和4年度秋学期生の募集を開始しています。ぜひこの機会に、働きながら免許や資格が取得できる通信教育にチャレンジしてみませんか。

入学説明会・入学個別相談はオンラインにて開催いたします。各回事前予約制となり、定員に達した場合は受付終了となります。詳細はホームページ「NEWS」でご確認ください。

● オンライン入学説明会(予約制)

入学説明会	8/14(日)	9/18(日)	10/2(日)
	各日 13:00 ~ 13:45		
公認心理師 入学説明会	8/28(日)	9/18(日)	10/2(日)
	各日 11:00 ~ 12:10		

・ご予約は、通信教育部HP(入学説明会ページ)から30日前から当日2日前の23:59までにご予約ください。

● オンライン入学個別相談(予約制)

8/6(土)・8/7(日)・8/21(日)・8/27(土)・ 9/3(土)・9/4(日)・9/11(日)・9/25(日)・ 10/1(土)・10/8(土)・10/9(日)・10/15(土)・10/16(日)
各日 10:00 ~ 15:00

・ご予約は、通信教育部HP(予約フォーム)から30日前から当日2日前の23:59までにご予約ください。

※電話相談は上記日程以外にも【平日 9:00-17:00、土 9:00-15:00】の間で予約不要で受け付けております。

学校説明会関係行事のご案内

※8月から12月までの予定です。詳細及び1月以降の予定につきましては、各校にお問い合わせください。

■ 聖徳大学(女子)・聖徳大学短期大学部(女子) ●お問い合わせ: 0120-66-5531(直通)

オープンキャンパス	▶8月7日[日]	▶8月21日[日]	▶9月18日[日]
	▶10月10日[月・祝]	▶11月6日[日]	

出張 オープンキャンパス ▶8月28日[日] 静岡

■ 聖徳大学幼児教育専門学校(女子) ●お問い合わせ: 03-5476-8811(代)

オープンキャンパス	▶8月7日[日] 10:00~	▶8月20日[土] 10:00~	▶8月28日[日] 10:00~
ショート オープンキャンパス	▶9月10日[土] 10:00~	▶9月23日[金・祝] 10:00~	▶10月1日[土] 10:00~
	▶10月30日[日] 10:00~	▶11月5日[土] 10:00~	▶11月19日[土] 10:00~
	▶12月17日[土] 10:00~		
夜の進学説明会	▶8月2日[火] 18:00~	▶9月14日[水] 18:00~	▶10月13日[木] 18:00~
	▶11月10日[木] 18:00~	▶12月8日[木] 18:00~	
入試説明会	▶9月3日[土] 10:00~	▶10月22日[土] 10:00~	
進学説明会	▶12月3日[土] 13:00~		

■ 光英VERITAS中学校・高等学校(共学) ●お問い合わせ: 0800-800-8442(入試広報室直通)

学校説明会	中学校 ▶11月19日[土] 9:30~11:30 ※小学4・5年生対象学校説明会
オープンスクール	中学校 ▶8月7日[日] 9:30~11:30 ▶8月28日[日] 9:30~11:30 高等学校 ▶8月11日[木・祝] 9:30~11:30 ▶8月28日[日] 13:30~15:30
部活動見学会	中学校・高等学校 ▶9月10日[土] 14:00~ ▶10月15日[土] 14:00~
入試説明会	中学校 ▶10月10日[月・祝] 9:30~11:30 ▶11月20日[日] 9:30~11:30 ▶12月10日[土] 9:30~11:30 高等学校 ▶10月15日[土] 9:30~11:30 ▶11月12日[土] 9:30~11:30 ▶12月3日[土] 9:30~11:30
個別相談会	中学校・高等学校 ▶9月24日[土]・25日[日] 光英祭(文化祭)同時開催 ▶11月5日[土] 9:30~11:30 ▶11月26日[土] 9:30~11:30 ▶12月24日[土] 9:30~11:30 ▶12月25日[日] 9:30~11:30

■ 聖徳大学附属取手聖徳女子中学校・高等学校(女子) ●お問い合わせ: 0297-83-8111(代)

学校説明会 兼 吹奏楽コース説明会	▶9月24日[土] 午前
夏の学校見学会	▶8月11日[木・祝] 午前 ▶8月20日[土] 午前
入試説明会	▶10月16日[日] 午前 聖徳祭(文化祭)同時開催 ▶10月30日[日] 午前 ▶11月12日[土] 午後 ▶11月19日[土] 午後 ▶11月23日[水・祝] 午前 ▶11月26日[土] 午後
吹奏楽部体験会	▶9月25日[日] 午前
吹奏楽コース受験対策説明会	▶11月3日[木・祝] 午前

■ 聖徳大学附属小学校(共学) ●お問い合わせ: 047-392-3111(代)

わくわくオープンスクール(予約制)	▶8月20日[土] 【午前の部】10:00~12:10 【午後の部】14:45~16:00
入試説明会(予約制)	▶8月27日[土] 【午前の部】10:00~11:30 【午後の部】14:45~16:00 ▶9月10日[土] 10:00~11:30(午前のみ) ▶10月29日[土] 10:00~11:30(午前のみ)

■ 聖徳大学附属幼稚園(共学) ●お問い合わせ: 047-368-6135(代)

見学会	▶9月14日[水] ▶9月15日[木] ▶9月16日[金] 説明会 ▶10月5日[水]
-----	---

■ 聖徳大学附属第二幼稚園(共学) ●お問い合わせ: 047-341-6598(代)

見学会	▶9月9日[金] ▶9月12日[月] ▶9月13日[火] 説明会 ▶10月11日[火]
-----	---

■ 聖徳大学附属成田幼稚園(共学) ●お問い合わせ: 0476-26-3371(代)

見学会	▶9月7日[水] ▶9月8日[木] 説明会 ▶10月8日[土]
-----	---------------------------------

■ 聖徳大学附属浦安幼稚園(共学) ●お問い合わせ: 047-383-9488(代)

見学会	▶9月5日[月] ▶9月7日[水] ▶10月6日[木] 説明会 ▶10月7日[金]
-----	---

■ 聖徳大学三田幼稚園(共学) ●お問い合わせ: 03-5476-8819(代)

説明会	▶9月9日[金] ▶10月7日[金]
-----	--------------------

■ 聖徳大学八王子幼稚園(共学) ●お問い合わせ: 042-664-0972(代)

説明会	▶9月27日[火]
-----	-----------

■ 聖徳大学多摩幼稚園(共学) ●お問い合わせ: 042-676-0777(代)

説明会	▶9月9日[金] ▶10月17日[月]
-----	---------------------

令和4年度 大学・短期大学部/後援会・保護者会 開催日程

開催日	時間	内容	場所
9月4日(日)	12:30	【第51回】新潟地区支部総会・保護者会	新潟・万代シルバーホテル
9月11日(日)	12:30	【第43回】東北(南)支部総会・保護者会	郡山・ビューホテルアネックス
10月2日(日)	12:30	【第25回】静岡県支部総会・保護者会	静岡・ホテルアソシア静岡
10月9日(日)	12:30	【第50回】東北(北)支部総会・保護者会	仙台・仙台ガーデンパレス
10月16日(日)	12:30	【第43回】甲信地区支部総会・保護者会	甲府・談露館
10月23日(日)	12:30	【第52回】九州・沖縄地区支部総会・保護者会	那覇・ホテルJALシティ那覇
10月30日(日)	12:30	【第47回】北関東支部総会・保護者会	大宮・JA共済埼玉ビル
11月6日(日)	12:30	【第51回】茨城県支部総会・保護者会 【第45回】東京地区支部総会・保護者会	聖徳大学
11月27日(日)	12:30	【第47回】千葉県支部総会・保護者会	聖徳大学

信州佐久 春日温泉 自然体感リゾート

長野県佐久市 春日 2258-1

かすがの森

ご予約はお電話にて 電話:0267-52-2111

宿泊料金・プランはホームページをご覧ください。 <http://www.kasuganomori.com/>

八島湿原

問合せ先: 八島ビジターセンター あざみ館
住所: 〒393-0000 長野県諏訪郡下諏訪町八島湿原10618
電話: 0266-52-7000
開館期間: 4月下旬~11月上旬(期間中無休)
開館時間: 9:30~16:30 入館無料

かすがの森から車で約1時間の距離にある八島湿原は標高1,630m。長野県のほぼ中央、3,000ヘクタールの大草原が広がる霧ヶ峰高原の北西部に位置する八島湿原は自然のたいへん豊かなところ。中でも日本を代表する高層湿原である八島ヶ原湿原はその重要性を早くから認められ、1939年(昭和14年)に国の天然記念物の指定を受けました。また国の文化財としても登録されました。

12,000年の歴史を持つ湿原の主役ともいえるミズゴケの種類は18種にのぼり、八島ヶ原湿原の約490倍もある日本最大級の釧路湿原とほぼ肩を並べています。



画像提供: 諏訪地方観光連盟

セイトクの派遣会社だから安心

派遣登録募集中!! 幼稚園教諭、保育士、一般事務 お気軽にご連絡ください

セイワコーポレーション
東京都港区虎ノ門1-1-20

0120-525-126 般 13-300726
13-ユ-300913

読者の声

ご意見・ご感想の宛先

学園広報誌聖徳フラッシュをお読みいただき、ありがとうございます。今後とも内容の充実に向けてまいりますので、ぜひ皆さまのご意見・ご感想をお寄せください。
(郵送) 〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550 東京聖徳学園「聖徳フラッシュ」係まで
(インターネット) <https://www.seitoku.ac.jp/gakuen/toiwase/frmpub>

学校法人 東京聖徳学園

聖徳フラッシュ 第121号
発行人/川並 弘純 編集/総務課

〒108-0073 東京都港区三田3-4-28
TEL.03-5476-8811(代)

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大が懸念されています。

本紙に掲載しているイベント・行事については、今後中止・延期になる場合があります。事前に各学校や園にお問い合わせをお願いいたします。